

「リニア、工事の渋滞対策は」

JR東海説明会

リニア中央新幹線が地下を通る川崎市中原区で30日夜、JR東海が、計画に伴う環境影響評価準備書の内容について説明会を開い



た。約160人の参加者からは「工事の際の渋滞対策は」「市内に事務所と責任者を置いて」といった質問や要望が相次いだ。

JR側は、川崎市内在がトンネルになり、5カ所に非常口を設けることなどを説明した。会場からは「ルート上の地価が下がるのではないか」といった懸念の声もあがった。

参加した「リニア新幹線を考える宮前の会」の山本太三雄さん(66)は「JRはまともに回答せず、住民の不安をおおる。JRや市への意見書の書き方を学ぶ学習会を開きたい」と話した。

県内のルートは39・4
*。川崎市内では中原、高津、宮前、麻生区の地下を通過する。

川崎